

「不登校に関する保護者の支援ニーズ等に関する調査」について

令和6（2024）年8月30日
教育政策課

1 目的

子供や学校との関わりの中で保護者が感じていることや必要な支援等について明らかにし、今後の不登校総合対策の検討に資する。

2 調査項目の概要

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">○ 基本情報（No.1～4）○ 子供が休むようになったきっかけ（No.5）○ 休んでいる時の子供の様子（No.6）○ 休んでいる間の子供の居場所や学習状況等（No.7～10）○ 別室、教育支援センター、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、フリースクールの利用状況や課題等（No.11～17）○ 上記以外の相談機関等の利用状況等（No.18） | <ul style="list-style-type: none">○ 保護者の気持ち（No.19）○ 保護者の気持ちの回復や安定につながった支援（No.20）○ 保護者が学校に期待すること（No.21）○ 今後の取組について期待すること（No.22） |
|--|---|

3 調査対象

県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校に在籍している欠席の多い児童生徒の保護者

4 調査期間

令和6（2024）年9月4日（水）～令和6（2024）年9月30日（月）

5 調査方法

Microsoft Forms を活用した Web 回答

6 回答フォームの周知方法

- ・ 9月4日（水）の教育長記者会見で記者発表するとともに、県ホームページに回答フォームを掲載
- ・ 市町の教育支援センター、民間のフリースクールや不登校の保護者、居場所等をとおした周知も実施

7 スケジュール

- ・ 8月30日（金） 不登校総合対策検討委員会において意見交換
- ・ 9月4日（水） 教育長記者会見にて、記者発表（再掲）
- ・ 9月4日（水）～9月30日（月） 調査実施
- ・ 10月24日（木） 第3回不登校総合対策検討委員会にて、児童生徒対象の調査と併せて結果を提示

調査項目一覧

- 1 お子さまの在籍校の設置者を選んでください。
- ・ 国立
 - ・ 市立または町立
 - ・ 県立
 - ・ 私立
- 2 お子さまの在籍校の学校種を選んでください。
- ・ 小学校
 - ・ 中学校
 - ・ 義務教育学校（前期課程）
 - ・ 義務教育学校（後期課程）
 - ・ 高等学校（全日制）
 - ・ 高等学校（定時制）
 - ・ 高等学校（通信制）
 - ・ 特別支援学校（小学部）
 - ・ 特別支援学校（中学部）
 - ・ 特別支援学校（高等部）
- 3 お子さまの学年を選んでください。※1で選択した学校種に合わせた学年表示となります
- ・ 1 学年（1 年次）
 - ・ 2 学年（2 年次）
 - ・ 3 学年（3 年次）
 - ・ 4 学年（4 年次）
 - ・ 5 学年（5 年次）
 - ・ 6 学年（6 年次）
 - ・ 7 学年（7 年次）
 - ・ 8 学年（8 年次）
 - ・ 9 学年（9 年次）
- 4 お住まいの地域を選んでください。
- ・ 宇都宮市、上三川町
 - ・ 鹿沼市、日光市
 - ・ 真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町
 - ・ 壬生町、野木町、小山市、栃木市、下野市
 - ・ 矢板市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、高根沢町、那珂川町
 - ・ 大田原市、那須町、那須塩原市
 - ・ 佐野市、足利市
 - ・ 県外
- 5 お子さまが学校を休んでいる（休みがちになっている）およその期間（登校したり欠席したりを繰り返している場合は、欠席日数の合計）を選んでください。
- ・ 1 か月未満
 - ・ 1 か月以上～3 か月未満
 - ・ 3 か月以上～半年未満
 - ・ 半年以上～1 年未満
 - ・ 1 年以上～2 年未満
 - ・ 2 年以上～3 年未満
 - ・ 3 年以上～4 年未満
 - ・ 4 年以上～5 年未満
 - ・ 5 年以上
 - ・ 答えたくない

6 お子さまが学校を休むようになった（休みがちになっている）きっかけは何だと思いませんか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ いじめの被害
- ・ 友達との人間関係
- ・ 友達以外の学校の児童生徒との人間関係
- ・ 学校やクラスの雰囲気
- ・ 先生との関係（先生が怖いなど）
- ・ 勉強がわからない
- ・ 宿題が終わらない
- ・ 将来への不安
- ・ 部活動等の課外活動
- ・ 校則やきまり等
- ・ 入学や進級、転校等による学校やクラスなどの環境の変化
- ・ 家族との関係
- ・ 頭痛や腹痛等の身体の不調
- ・ 生活リズムの乱れ
- ・ インターネット（SNS等）やゲーム等の影響
- ・ 学校に行く理由が見つからない
- ・ 家族や友達、学校の先生に打ち明けることが難しい悩み
- ・ きっかけが何か分からない
- ・ その他（※記述回答）

7 学校を休んでいる間（休みがちになっている時）のお子さまの様子について、あてはまるものを全て選んでください。

- ・ 心が安定していた
- ・ ストレスが増え、イライラや荒れた言動が増えた
- ・ 落ち込んだり悩んだりしていた
- ・ 原因がはっきりしない頭痛、腹痛、発熱等の身体の不調があった
- ・ 家族への強い反発や暴力があった
- ・ インターネット（SNS等）やゲームを長時間していた
- ・ 昼夜逆転など、生活リズムが大きく乱れていた
- ・ 自暴自棄で、何事にも投げやりな様子だった
- ・ 何事にも関心を示さないなど無気力な様子だった
- ・ 部屋に閉じこもりがちで家族との関わりを避けている様子だった
- ・ 家から出られなかったり、他人との関わりを避けたりしていた
- ・ 友達がいらないことへの不安など、孤立感を感じていた
- ・ インターネットやSNSで知り合った人と交流していた
- ・ 幼児返りのような行動（過度に甘える等）が増えた
- ・ 食欲が落ちたり、夜眠れなくなったりするなど、気持ちが不安定となった
- ・ 学習の遅れや進学などについて不安な様子があった
- ・ 死にたいと言うようになった。
- ・ 自傷行為（自分の体を傷つける、薬をたくさん飲む等）をするようになった
- ・ その他（※記述回答）

- 8 自宅以外でお子さまが過ごしていた場所や利用した施設等（学校内の別室や市町の教育支援センター、民間のフリースクールや居場所は除く）はどれですか。あてはまるものを全て選んでください。
- ・ 地域の公民館や図書館などの公共施設
 - ・ 塾や予備校（自習室を含む）
 - ・ オンラインの学習や体験活動、相談を受けられるインターネット空間（メタバースによる学習や体験活動への参加など）
 - ・ 医療機関
 - ・ 祖父母や親戚宅
 - ・ 自宅以外に子供が過ごしていた場所や利用した施設は特にない
 - ・ その他（※記述回答）
- 9 お子さまが学校を休んでいる間（休みがちになっている時）、自宅等で学習をしていましたか。
- ・ 学習していた
 - ・ 学習していなかった
- 10 9で「学習していた」と回答した方にお聞きします。お子さまが学校を休んでいる間、学校で配付している一人一台端末を使うことができましたか。あてはまるものを1つ選んでください。
- ・ 使うことができた
 - ・ 学校から持ち帰ることができたが、自宅にインターネット回線がないため、使えなかった
 - ・ 学校から配付されたが、自宅に持ち帰っていないため、使えなかった
 - ・ 学校から配付されていなかった
- 11 10で「使うことができた」と回答した方にお聞きします。お子さまは、以下の学校によるオンラインを活用した学習支援や動画の配信等を利用しましたか。それぞれ一番近いものを1つ選んでください。
（利用した 利用できることを知っていたが利用しなかった 学校が実施していなかった 利用していたかどうか分からない）
- ・ 授業のライブ配信
 - ・ 授業動画のオンデマンド視聴
 - ・ 教室の様子のライブ配信（授業以外）
 - ・ 学習アプリを活用した学習
 - ・ 学校の先生とのオンラインでの相談

12 お子さまは、学校内で教室に入れない児童生徒が利用できる「別室（サポートルーム等）」を利用しましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ・ 利用した
- ・ 利用できることを知っていたが利用しなかった
- ・ 利用できることを知らなかった
- ・ 別室が設定されていなかった

12-1 12で「利用した」と回答した方にお聞きします。利用していた（している）部屋はどこですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ 保健室
- ・ 図書室
- ・ 会議室、応接室、校長室等教員使用の部屋
- ・ 別室登校専用の部屋
- ・ その他（※記述回答）

12-2 12で「利用した」と回答した方にお聞きします。「別室」を利用した感想として、一番近いものを選んでください。

- ・ よかった
- ・ どちらかといえばよかった
- ・ どちらかといえばよくなかった
- ・ よくなかった

12-3 12-2で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。「別室」を利用してよかった理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ 気持ちが安定し、元気が出てきた
- ・ 家族との会話が増えた
- ・ 生活リズムが改善した
- ・ 体調不良が軽減した
- ・ 家族以外で話せる（相談できる）人ができた
- ・ 自ら楽しめる時間ができて笑顔が増えた
- ・ 異年齢の友だちができた。
- ・ 昼夜逆転が改善された
- ・ 食欲がでてきた
- ・ 学習に取り組む機会が増えた
- ・ 外出の回数が増えた
- ・ 学校への働きかけのパイプ役になってもらえた
- ・ 自分の教室に登校、もしくは部分的に参加できる時間が増えた
- ・ 特にない
- ・ その他（※記述回答）

12-4 12 で「利用した」と回答した方にお聞きします。「別室」を利用した際に困ったことは何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ 別室の教職員と子供が合わなかったこと
- ・ 別室にいる他の児童生徒の存在や、合わない児童生徒がいたこと
- ・ 別室の方針や施設・設備等の環境が子供に合わなかったこと
- ・ 別室における学習方法が子供に合わなかったこと
- ・ 保護者による送迎が利用の条件となっており、送迎のために仕事を休んだり子供を預けたりすることが難しかったこと
- ・ 支援の内容についての情報がなく、子供が安心して過ごせる場所かどうか分からなかったこと
- ・ 家族や親戚、知り合いなどに反対されたこと
- ・ 別室で学習しても、出席として扱われない場合があったこと
- ・ 別室が教室への復帰を前提としており、子供の状態と合わないと思ったこと
- ・ 別室で教育を受けることが子供の将来（進学や進級）にどのような影響があるか分からず不安だったこと
- ・ 子供がなかなか家から出られない状態だったため、定期的な利用が難しかったこと
- ・ 利用している子供の人数が多いためこれ以上受け入れられないと言われたこと
- ・ 何もすることがなく居づらかったこと
- ・ 何もしなくてもよく、安心して過ごせる居場所ではなかったこと
- ・ 特にない
- ・ その他（※記述回答）

12-5 12 で「利用できることを知っていたが利用しなかった」と回答した方にお聞きします。「別室」を利用できることを知っていたが利用しなかった理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ 利用するための条件や手続きについての情報がなく
- ・ 別室の教職員と子供が合わないのではないかと思ったから
- ・ 別室にいる他の児童生徒の存在や、合わない児童生徒がいるかもしれないと思ったから
- ・ 別室の方針や施設・設備等の環境が子供に合わないと思ったから
- ・ 別室における学習方法が子供に合わないと思ったから
- ・ 保護者による送迎が利用の条件となっており、送迎のために仕事を休んだり子供を預けたりすることが難しいから
- ・ 支援の内容についての情報がなく、子供が安心して過ごせる場所かどうか分からないから
- ・ 子供が利用する必要性を感じていなかったから
- ・ 家族や親戚、知り合いなどに反対されたから
- ・ 利用を希望したが、利用するためには条件があり、利用できなかったから
- ・ 別室で学習しても、出席として扱われない場合があったから
- ・ 別室が教室への復帰を前提としており、子供の状態と合わないと思ったから
- ・ 別室で教育を受けることが子供の将来（進学や進級）にどのような影響があるか分からず不安だったから
- ・ 子供が家から出られない状態だったから
- ・ 利用している子供の人数が多いためこれ以上受け入れられないと言われたから
- ・ 何もしなくてもよく、安心して過ごせる居場所ではなかったから
- ・ 特にない
- ・ その他（※記述回答）

13 お子さまは、市町の教育支援センターや教育相談室など、不登校の児童生徒が学習したり、相談したり、体験したりできる市や町の施設を利用しましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ・ 利用した
- ・ 利用できることを知っていたが利用しなかった
- ・ 利用できることを知らなかった

13-1 13で「利用した」と回答した方にお聞きします。教育支援センター等を利用した感想を選んでください。

- ・ よかった
- ・ どちらかといえばよかった
- ・ どちらかといえばよくなかった
- ・ よくなかった

13-2 13-1で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。教育支援センター等を利用してよかった理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ 気持ちが安定し、元気が出てきた
- ・ 家族との会話が増えた
- ・ 生活リズムが改善した
- ・ 体調不良が軽減した
- ・ 家族以外で話せる（相談できる）人ができた
- ・ 自ら楽しめる時間ができて笑顔が増えた
- ・ 異年齢の友だちができた。
- ・ 昼夜逆転が改善された
- ・ 食欲がでてきた
- ・ 学習に取り組む機会が増えた
- ・ 外出の回数が増えた
- ・ 学校への働きかけのパイプ役になってもらえた
- ・ 自分の教室に登校、もしくは部分的に参加できる時間が増えた
- ・ 特にない
- ・ その他（※記述回答）

13-3 13 で「利用した」と回答した方にお聞きします。教育支援センター等を利用した際に困ったことは何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ 教育支援センターの教職員と子供が合わなかったこと
- ・ 教育支援センターにいる他の児童生徒の存在や、合わない児童生徒がいたこと
- ・ 教育支援センターの方針や施設・設備等の環境が子供に合わなかったこと
- ・ 教育支援センターにおける学習方法が子供に合わなかったこと
- ・ 保護者による送迎が利用の条件となっており、送迎のために仕事を休んだり子供を預けたりすることが難しかったこと
- ・ 支援の内容についての情報がなく、子供が安心して過ごせる場所かどうか分からなかったこと
- ・ 家族や親戚、知り合いなどに反対されたこと
- ・ 教育支援センターで学習しても、出席として扱われない場合があったこと
- ・ 教育支援センターが教室への復帰を前提としており、子供の状態と合わないと思ったこと
- ・ 教育支援センターで教育を受けることが子供の将来（進学や進級）にどのような影響があるか分からず不安だったこと
- ・ 子供がなかなか家から出られない状態だったため、定期的な利用が難しかったこと
- ・ 利用している子供の人数が多いためこれ以上受け入れられないと言われたこと
- ・ 何もすることがなくて居づらかったこと
- ・ 何もしなくてもよく、安心して過ごせる居場所ではなかったこと
- ・ 近隣に教育支援センターがなく、自宅から遠かったこと
- ・ 特にない
- ・ その他（※記述回答）

13-4 13 で「利用できることを知っていたが利用しなかった」と回答した方にお聞きします。教育支援センターを利用できることを知っていたが利用しなかった理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ 利用するための条件や手続きについての情報がないから
- ・ 教育支援センターの教職員と子供が合わないのではないかと思ったから
- ・ 教育支援センターにいる他の児童生徒の存在や、合わない児童生徒がいるかもしれないと思ったから
- ・ 教育支援センターの方針や施設・設備等の環境が子供に合わないと思ったから
- ・ 教育支援センターにおける学習方法が子供に合わないと思ったから
- ・ 保護者による送迎が利用の条件となっており、送迎のために仕事を休んだり子供を預けたりすることが難しいから
- ・ 支援の内容についての情報がなく、子供が安心して過ごせる場所かどうか分からないから
- ・ 子供が利用する必要性を感じていなかったから
- ・ 家族や親戚、知り合いなどに反対されたから
- ・ 利用を希望したが、利用するためには条件があり、利用できなかったから
- ・ 教育支援センターで学習しても、出席として扱われない場合があったから
- ・ 教育支援センターが教室への復帰を前提としており、子供の状態と合わないと思ったから
- ・ 教育支援センターで教育を受けることが子供の将来（進学や進級）にどのような影響があるか分からず不安だったから
- ・ 子供が家から出られない状態だったから
- ・ 利用している子供の人数が多いためこれ以上受け入れられないと言われたから
- ・ 何もしなくてもよく、安心して過ごせる居場所ではなかったから
- ・ 近隣に教育支援センターがなかったから
- ・ 特にない
- ・ その他（※記述回答）

14 お子さまは、民間のフリースクール（不登校の児童生徒が学習したり、相談したり、体験したりできる民間施設）や居場所を利用しましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ・ 利用した
- ・ 利用できることを知っていたが利用しなかった
- ・ 利用できることを知らなかった

14-1 14で「利用した」と回答した方にお聞きします。フリースクール等を利用した感想を選んでください。

- ・ よかった
- ・ どちらかといえばよかった
- ・ どちらかといえばよくなかった
- ・ よくなかった

14-2 14-1で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。フリースクール等を利用してよかった理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ 気持ちが安定し、元気が出てきた
- ・ 家族との会話が増えた
- ・ 生活リズムが改善した
- ・ 体調不良が軽減した
- ・ 家族以外で話せる（相談できる）人ができた
- ・ 自ら楽しめる時間ができて笑顔が増えた
- ・ 異年齢の友だちができた。
- ・ 昼夜逆転が改善された
- ・ 食欲がでてきた
- ・ 学習に取り組む機会が増えた
- ・ 外出の回数が増えた
- ・ 学校への働きかけのパイプ役になってもらえた
- ・ 自分の教室に登校、もしくは部分的に参加できる時間が増えた
- ・ 特にない
- ・ その他（※記述回答）

14-3 14 で「利用した」と回答した方にお聞きします。フリースクール等を利用した際に困ったことは何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ フリースクールの教職員と子供が合わなかったこと
- ・ 利用料の負担が難しかったこと
- ・ フリースクールにいる他の児童生徒の存在や、合わない児童生徒がいたこと
- ・ フリースクールの方針や施設・設備等の環境が子供に合わなかったこと
- ・ フリースクールにおける学習方法が子供に合わなかったこと
- ・ 保護者による送迎が利用の条件となっており、送迎のために仕事を休んだり子供を預けたりすることが難しかったこと
- ・ 支援の内容についての情報がなく、子供が安心して過ごせる場所かどうか分からなかったこと
- ・ 家族や親戚、知り合いなどに反対されたこと
- ・ フリースクールで学習しても、出席として扱われない場合があったこと
- ・ フリースクールが教室への復帰を前提としており、子供の状態と合わないと思ったこと
- ・ フリースクールで教育を受けることが子供の将来（進学や進級）にどのような影響があるか分からず不安だったこと
- ・ 子供がなかなか家から出られない状態だったため、定期的な利用が難しかったこと
- ・ 利用している子供の人数が多いためこれ以上受け入れられないと言われたこと
- ・ 何もしなくてもよく、安心して過ごせる居場所ではなかったこと
- ・ 近隣にフリースクールがなく、自宅から遠かったこと
- ・ 特にない
- ・ その他（※記述回答）

14-4 14 で「利用できることを知っていたが利用しなかった」と回答した方にお聞きします。フリースクール等を利用できることを知っていたが利用しなかった理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ 利用するための条件や手続きについての情報が無いから
- ・ 利用料の負担が難しかったから
- ・ フリースクールの教職員と子供が合わないのではないかと思ったから
- ・ フリースクールにいる他の児童生徒の存在や、合わない児童生徒がいるかもしれないと思ったから
- ・ フリースクールの方針や施設・設備等の環境が子供に合わないと思ったから
- ・ フリースクールにおける学習方法が子供に合わないと思ったから
- ・ 保護者による送迎が利用の条件となっており、送迎のために仕事を休んだり子供を預けたりすることが難しいから
- ・ 支援の内容についての情報がなく、子供が安心して過ごせる場所かどうか分からないから
- ・ 子供が利用する必要性を感じていなかったから
- ・ 家族や親戚、知り合いなどに反対されたから
- ・ 利用を希望したが、利用するためには条件があり、利用できなかったから
- ・ フリースクールで学習しても、出席として扱われない場合があったから
- ・ フリースクールが教室への復帰を前提としており、子供の状態と合わないと思ったから
- ・ フリースクールで教育を受けることが子供の将来（進学や進級）にどのような影響があるか分からず不安だったから
- ・ 子供が家から出られない状態だったから
- ・ 利用している子供の人数が多いためこれ以上受け入れられないと言われたから
- ・ 何もしなくてもよく、安心して過ごせる居場所ではなかったこと
- ・ 近隣にフリースクールがなかったから
- ・ 特にない
- ・ その他（※記述回答）

15 お子さまはスクールカウンセラーへの相談をしましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ・ 相談した
- ・ 相談できることを知っていたが利用しなかった
- ・ 相談できることを知らなかった
- ・ 学校にスクールカウンセラーがいなかった

15-1 15で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談した感想を選んでください。

- ・ よかった
- ・ どちらかといえばよかった
- ・ どちらかといえばよくなかった
- ・ よくなかった

15-2 15-1で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談してよかった理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ 気持ちが安定し、元気が出てきた
- ・ 家族との会話が増えた
- ・ 生活リズムが改善した
- ・ 体調不良が軽減した
- ・ 家族以外で話せる（相談できる）人ができた
- ・ 自ら楽しめる時間ができて笑顔が増えた
- ・ 異年齢の友だちができた。
- ・ 昼夜逆転が改善された
- ・ 食欲がでてきた
- ・ 学習に取り組む機会が増えた
- ・ 外出の回数が増えた
- ・ 学校への働きかけのパイプ役になってもらえた
- ・ 自分の教室に登校、もしくは部分的に参加できる時間が増えた
- ・ 特にない
- ・ その他（※記述回答）

15-3 15 で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談した際に困ったことは何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりしたため、相談したい時に相談できなかったこと
- ・ うまく話を聴いてもらえず、合わないと感じた。特に役に立つアドバイスがなかったこと
- ・ 相談内容を学校に伝えて欲しくないと言ったのに、勝手に伝わっていたこと
- ・ スクールカウンセラーに相談内容を学校に伝えて欲しいと言ったのに、うまく伝わらなかったこと
- ・ スクールカウンセラーと合わなかった場合、学校内で他に相談できる人がいなくなってしまう不安があったこと
- ・ 送迎のために仕事を休んだり子供を預けたりすることが難しかったこと
- ・ 特になし
- ・ その他(※記述回答)

15-4 15 で「相談できることを知っていたが相談しなかった」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりして、相談したい時に相談できないから
- ・ 相談内容を学校に伝えて欲しくないと言ったのに、勝手に伝わるのではないかと不安だったから
- ・ スクールカウンセラーに相談しても相談内容を学校に伝えてもらえないと思ったから
- ・ スクールカウンセラーがどういう人で、どういうことを相談してよいのかがわかりづらく、合わないと思ったから
- ・ 外出することを子供が嫌がったため、学校での相談ができなかったから
- ・ 知らない人と会うことを子供が嫌がったため、相談ができなかったから
- ・ 送迎のために仕事を休んだり子供を預けたりすることが難しかったから
- ・ 利用する必要性を感じなかったから
- ・ 特になし
- ・ その他(※記述回答)

16 保護者はスクールカウンセラーへの相談をしましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ・ 相談した
- ・ 相談できることを知っていたが利用しなかった
- ・ 相談できることを知らなかった
- ・ 学校にスクールカウンセラーがいなかった

16-1 16で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談した感想を選んでください。

- ・ よかった
- ・ どちらかといえばよかった
- ・ どちらかといえばよくなかった
- ・ よくなかった

16-2 16-1で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談してよかった理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ 子供の気持ちが理解できた
- ・ 子供との関わり方について理解できた
- ・ 保護者の不安な気持ちを聞いてもらえて落ち着いた
- ・ 先生や学校への働きかけのパイプ役になってもらえた
- ・ 特にない
- ・ その他(※記述回答)

16-3 16で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談した際に困ったことは何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりしたため、相談したい時に相談できなかったこと
- ・ うまく話を聴いてもらえず、合わないと感じた。特に役に立つアドバイスがなかったこと
- ・ 相談内容を学校に伝えて欲しくないと言ったのに、勝手に伝わっていたこと
- ・ スクールカウンセラーに相談内容を学校に伝えて欲しいと言ったが、うまく伝わらなかったこと
- ・ スクールカウンセラーと合わなかった場合、学校内で他に相談できる人がいなくなってしまう不安があったこと
- ・ 送迎のために仕事を休んだり子供を預けたりすることが難しかったこと
- ・ 特にない
- ・ その他(※記述回答)

16-4 16で「相談できることを知っていたが相談しなかった」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりして、相談したい時に相談できないから
- ・ 相談内容を学校に伝えて欲しくないと言ったのに、勝手に伝わるのではないかと不安だったから
- ・ スクールカウンセラーに相談しても相談内容を学校に伝えてもらえないと思ったから
- ・ スクールカウンセラーがどういう人で、どういうことを相談してよいかのかわかりづらく、合わないと思ったから
- ・ 外出することを子供が嫌がったため、学校での相談ができなかったから
- ・ 知らない人と会うことを子供が嫌がったため、相談ができなかったから
- ・ 送迎のために仕事を休んだり子供を預けたりすることが難しかったから
- ・ 利用する必要性を感じなかったから
- ・ 特にない
- ・ その他(※記述回答)

17 お子さまはスクールソーシャルワーカーへの相談をしましたか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ 相談した
- ・ 相談できることを知っていたが利用しなかった。
- ・ 相談できることを知らなかった
- ・ スクールソーシャルワーカーという職業を知らなかった。

17-1 17で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談した感想を選んでください。

- ・ よかった
- ・ どちらかといえばよかった
- ・ どちらかといえばよくなかった
- ・ よくなかった

17-2 17-1で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談してよかった理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ 先生や学校への働きかけのパイプ役になってもらえた
- ・ 県や市町の福祉の相談機関とつながることができた
- ・ 医療の専門機関とつながることができた
- ・ その他、民間の専門機関とつながることができた
- ・ 特にない
- ・ その他(※記述回答)

17-3 17で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談した際に困ったことは何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりしたため、相談したい時に相談できなかったこと
- ・ うまく話を聴いてもらえず、合わないと感じた。特に役に立つアドバイスがなかったこと
- ・ 相談内容を学校に伝えて欲しくないと言ったのに、勝手に伝わっていたこと
- ・ スクールソーシャルワーカーに相談内容を学校に伝えて欲しいと言ったが、うまく伝わらなかったこと
- ・ スクールソーシャルワーカーと合わなかった場合、学校内で他に相談できる人がいなくなってしまう不安があったこと
- ・ 送迎のために仕事を休んだり子供を預けたりすることが難しかったこと
- ・ 特にない
- ・ その他(※記述回答)

17-4 17で「相談できることを知っていたが相談しなかった」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりして、相談したい時に相談できないから
- ・ 相談内容を学校に伝えて欲しくないと言ったのに、勝手に伝わるのではないかと不安だったから
- ・ スクールソーシャルワーカーに相談しても相談内容を学校に伝えてもらえないと思ったから
- ・ スクールソーシャルワーカーがどういう人で、どういうことを相談してよいのかがわかりづらく、合わないと思ったから
- ・ 外出することを子供が嫌がったため、学校での相談ができなかったから
- ・ 知らない人と会うことを子供が嫌がったため、相談ができなかったから
- ・ 送迎のために仕事を休んだり子供を預けたりすることが難しかったから
- ・ 利用する必要性を感じなかったから
- ・ 特にない
- ・ その他(※記述回答)

- 18 保護者はスクールソーシャルワーカーへの相談をしましたか。あてはまるものを1つ選んでください。
- ・ 相談した
 - ・ 相談できることを知っていたが利用しなかった。
 - ・ 相談できることを知らなかった
 - ・ 学校にスクールソーシャルワーカーがいなかった。
- 18-1 18で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談した感想を選んでください。
- ・ よかった
 - ・ どちらかといえばよかった
 - ・ どちらかといえばよくなかった
 - ・ よくなかった
- 18-2 18-1で「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談してよかった理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。
- ・ 先生や学校への働きかけのパイプ役になってもらえた
 - ・ 県や市町の福祉の相談機関とつながることができた
 - ・ 医療の専門機関とつながることができた
 - ・ その他、民間の専門機関とつながることができた
 - ・ 特にない
 - ・ その他(※記述回答)
- 18-3 18で「相談した」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談した際に困ったことは何ですか。あてはまるものを全て選んでください。
- ・ なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりしたため、相談したい時に相談できなかったこと
 - ・ うまく話を聴いてもらえず、合わないと感じた。特に役に立つアドバイスがなかったこと
 - ・ 相談内容を学校に伝えて欲しくないと言ったのに、勝手に伝わっていたこと
 - ・ スクールソーシャルワーカーに相談内容を学校に伝えて欲しいと言ったが、うまく伝わらなかったこと
 - ・ スクールソーシャルワーカーと合わなかった場合、学校内で他に相談できる人がいなくなってしまう不安があったこと
 - ・ 送迎のために仕事を休んだり子供を預けたりすることが難しかったこと
 - ・ 特にない
 - ・ その他(※記述回答)
- 18-4 18で「相談できることを知っていたが相談しなかった」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーに相談できることを知っていたが相談しなかった理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。
- ・ なかなか予約がとれなかったり予定が合わなかったりして、相談したい時に相談できないから
 - ・ 相談内容を学校に伝えて欲しくないと言ったのに、勝手に伝わるのではないかと不安だったから
 - ・ スクールソーシャルワーカーに相談しても相談内容を学校に伝えてもらえないと思ったから
 - ・ スクールソーシャルワーカーがどういう人で、どういうことを相談してよいのかがわかりづらく、合わないと思ったから
 - ・ 外出することを子供が嫌がったため、学校での相談ができなかったから
 - ・ 知らない人と会うことを子供が嫌がったため、相談ができなかったから
 - ・ 送迎のために仕事を休んだり子供を預けたりすることが難しかったから
 - ・ 利用する必要性を感じなかったから
 - ・ 特にない
 - ・ その他(※記述回答)

19 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育支援センター、フリースクール以外で、お子さまや保護者が利用した相談窓口を全て選んでください。

- ・ 県や市町の教育委員会が開設する電話相談や来所相談
- ・ 医療機関等の専門機関への相談
- ・ 県の健康福祉センターや市町の保健所の相談窓口
- ・ 県の児童相談所や市や町の子供家庭支援センターなどの子育てに関する相談窓口
- ・ 民間が運営するオンラインの相談窓口
- ・ 特にない
- ・ その他(※記述回答)

20 お子さまが学校を休んでいる間(休みがちになっている時)の保護者の気持ちとして、あてはまるものを全て選んでください。

- ・ 子供の気持ちが落ち着いたので、休ませてよかった
- ・ 子供の気持ちが分からず苦しかった
- ・ 子供にどのように接したらよいかわからなかった
- ・ 子供の進路や将来について、不安が大きかった
- ・ 相談できる相手がなくて不安だった
- ・ 勉強の遅れに対する不安があった
- ・ いつ学校に戻れるのか不安だった
- ・ 孤立感を感じるようになった
- ・ 子育てに自信がなくなった
- ・ 自分の育て方や親子関係が原因で子供が不登校になってしまったのではないかと考え自分を責めてしまった
- ・ 配偶者や子供の祖父母の理解や協力が得られず辛かった
- ・ 子供に我慢をさせることが多く、申し訳ない気持ちになった
- ・ ほかに子供も不登校になるのではないかと不安だった
- ・ 食欲が落ちたり、夜眠れなくなったりするなど、気持ちが不安定だった
- ・ 毎朝の学校への欠席連絡をすることが負担に感じていた
- ・ 仕事を休むことが多くなり、仕事を続けていけるかどうか不安だった
- ・ 仕事を辞めざるを得なくなったことから経済的に厳しい状況となり、辛い気持ちだった
- ・ 特にない
- ・ その他(※記述回答)

21 保護者の気持ちの回復や安定につながった支援は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ 家族や親戚の理解や協力があったこと
- ・ 保護者自身の友人や学校の保護者仲間の理解や協力があったこと
- ・ 職場の上司や同僚の理解や協力があったこと
- ・ 近隣住民の理解や協力があったこと
- ・ 出欠連絡の方法や家庭訪問の実施の有無、学校からの配付物の配付方法、登校の際の配慮等について、児童生徒や保護者と相談しながら決めてくれたこと
- ・ 学校の先生との電話での相談や学校での面談
- ・ 学校の先生の家庭訪問
- ・ 学校のスクールカウンセラーへの相談
- ・ 学校のスクールソーシャルワーカーへの相談
- ・ 教育支援センターの職員への相談
- ・ フリースクールや子供の居場所の職員への相談
- ・ 不登校の親の会での相談
- ・ 市や町の福祉関係の窓口での相談
- ・ 医療機関への相談
- ・ 特にない
- ・ その他（※記述回答）

22 お子さまにとって学校が安心して学んだり生活できたりする場所になるために、学校や先生にどのようなことを期待しますか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ 勉強をわかりやすく（丁寧に）教えてほしい
- ・ 学校行事が楽しくなるようにしてほしい
- ・ 子供が友達と仲良くなれるよう手助けしてほしい
- ・ 子供が先生と話す時間をつくってほしい
- ・ 悩みや意見をじっくり聞いて子供の気持ちを分かってほしい
- ・ 子供が頑張っていることをもっと褒めてほしい
- ・ 悪いことをした児童生徒をきちんと注意してほしい
- ・ 人間関係の問題やいじめなどのない安心して楽しく生活できる学校にしてほしい
- ・ 他の児童生徒の前で子供を叱らないでほしい
- ・ 校則などについて子供と学校が話し合う機会をつくってほしい
- ・ 叱ったり、注意したりするときに、その理由がよくわかるように子供に話してほしい
- ・ 学校で子供に何かあった場合には、こまめに連絡してほしい
- ・ 学校の対応について保護者と学校が話し合う機会をつくってほしい
- ・ どんな個性の子供であっても、自分の教室で安心して過ごせるよう配慮して欲しい
- ・ 全ての学校で別室に登校できるよう、環境を整備してほしい
- ・ 不登校の親の話を先生が聴く機会を設けてほしい
- ・ 欠席しがちな状態になった場合に、出欠連絡の方法や家庭訪問の実施の有無、学校からの配付物の配付方法、登校の際の配慮等について、児童生徒や保護者と相談しながら決めてほしい
- ・ 特にない
- ・ その他（※記述回答）

23 不登校の子供や保護者への支援の充実に向けて、今後どのような取組が必要と思いますか。あてはまるものを全て選んでください。

- ・ 不登校の子供や保護者が相談できる公的機関の相談窓口の充実
- ・ フリースクールや居場所、親の会など、民間の支援機関の情報についての学校からの周知
- ・ フリースクールや居場所、親の会など、民間の支援機関の情報についての学校以外の手段での周知
- ・ 不登校の子供との関わり方などを保護者が学ぶ機会
- ・ 不登校の子供の保護者同士がつながれる公的な仕組み
- ・ 子供が不登校になる前に、保護者が不登校について学んだり、支援機関について知ったりする機会
- ・ 教職員向けの不登校に関する研修の充実
- ・ 外出することができない子供が自宅で受けることのできる公的な支援
- ・ 不登校の子供や保護者への偏見を払拭したり、誤解が生まれないようにしたりするための啓発活動
- ・ 子供が家や学校以外で安心して過ごしたり同世代の人や大人とつながれたりする県や市町の施設（来所利用）
- ・ 子供が家や学校以外で安心して過ごしたり同世代の人や大人とつながれたりする県や市町の施設（オンライン利用）
- ・ 自宅等で学校の授業をオンラインで視聴できるようにすること
- ・ 自宅等で学校の様子をオンラインで見ることができるようにすること
- ・ 不登校の世帯への経済的な支援
- ・ 不登校の家庭が地域から孤立しないような仕組みづくり
- ・ 特にない
- ・ その他（※記述回答）

24 この調査について、どのように知りましたか。

- ・ 県のホームページ
- ・ 新聞記事等の報道等
- ・ 市や町の教育支援センターや相談室等
- ・ フリースクールや居場所等
- ・ 親の会等の支援団体等
- ・ 上記以外